

チョウから自然環境の 変化を調べてみよう

～チョウ類のモニタリング調査の研修会のお知らせ～

さまざまな要因により日本の自然環境は大きく変化しています。そうした中、自然がどう変化しているのかを把握すること（モニタリング）が非常に重要になっています。

チョウは、指標性の高い生物グループであることがわかっており、チョウのモニタリングをすることで、自然がどう変化しているのかを把握することができます。

この研修会では、チョウのモニタリング調査の方法を説明します。チョウの観察が初心者の方も、ぜひご参加ください。

■日時:2024年9月21日(土) 10:00～12:00

(屋内:1時間・屋外:1時間)

■場所:スリーエム仙台市科学館 第2実験室

〒981-0903 仙台市青葉区台原森林公園4番1号 TEL:022-276-2201

■対象:中学生以上

■定員:40名(参加費無料)

■説明:中村康弘(日本チョウ類保全協会 事務局長)

■持ち物:筆記用具(お持ちの場合)カメラ・チョウの図鑑

■服装:野外を歩ける服装

■参加申し込み・お問合せ:下記の連絡先までメールまたは電話にて



アカタテハ



キタキチョウ



ルリシジミ

チョウにあまり詳しくない初心者の方、チョウや自然の観察をよくされている方など、ご関心を持たれた方は、ぜひご参加ください。

参加申し込み・お問合せ:日本チョウ類保全協会

〒140-0014 東京都品川区大井4-1-5-201

TEL/FAX 03-3775-7006 携帯TEL 080-5127-1696

Email: jbc@savethebutterflies.jp

主催: NPO法人 日本チョウ類保全協会

共催: スリーエム仙台市科学館